

第一節 大正十二年

大正十二年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正十二年四月五日豫備科及本科入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ同月十二日官報ニ掲載セリ

同年同月十一日新入學生徒ノ入學式ヲ行フ

同年九月一日正午近ク関東地方一帯ニ及ボセル大地震起リ東京市中モ震害甚シク同時ニ大火災起リ延イテ翌二日夜ニ至リ全市ノ大半ヲ焦土ニ化セル大事變アリ 本校ハ幸ニ地震ニ因ル被害モ比較的深甚ナラズ且火災モ全然免レ得タリ 蓋本校舎ハ木造ナルモ建築構造ノ堅牢ナルト地盤ノ強固ナル處ニ建ラレシトニ依テ能ク震災ニ耐ヘ得タルモノナルベク又上野公園ノ一隅ニ位置シテ學校構内廣ク樹木多ク人家ニ隣比シ居ラザル為メ火災ヲ免レタルモノト思料ス 當時罹災避難者ノ本校ニ來集セルモノ數千人ニ達シ其内千人及至四百人ハ十月八日迄本校附属建物中ニ收容シテ及ブダケノ保護ヲ加ヘ漸次立退セシメタリ 其詳細狀況ハ其時々ニ於テ別ニ報告シタル所ノ如シ

例年九月十一日ヨリ夏季休業後ノ授業開始ナリシ處本年ハ震災直後ニ際シ非常ノ混乱動揺中ニアルヲ以テ勿論授業ヲ開始スルヲ得ズ文部省ニ於テモ九月六日ヲ以テ東京及横濱所在ノ文部省直轄學

校ハ当分ノ内臨時休業ストノ告示ヲ發セラレタルニ付本校ハ九月十二日以後引續キ休業シ震災破損建物ノ應急の修理ニ勉メ十月二日日本校ヨリ申請シテ許可ヲ仰ギ十一月一日ヨリ授業ヲ開始シタリ 同年十月二日東京帝國大學文學部長ヨリ震災ノ為メ教室焼失シ授業上差支ニ付本校教室ノ一部借用ヲ申込マレシニ依リ本校寫真科講義室同研究室ヲ貸與スルコト、ナリ十一月一日ヨリ同所ニ於テ文學部美術史講座ヲ開講サレ今猶繼續中ナリ

同年十一月一日選科入學許可者氏名ヲ校内ニ揭示發表セリ

同十三年一月八日午前十時ヨリ職員生徒一同講堂ニ參集シ新年授業始式ヲ舉ケ

御真影奉拝勅語奉讀ヲ行ヒタリ

同年三月十八日ヨリ四日間秋田鑛山專門學校入學試驗場ニ本校講堂教室ノ一部ヲ貸與シ同校ヨリ教官出張シ來リ入學試驗ヲ執行シタリ

同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第三十三回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十五日ハ廣ク本校関係者及有志者等ニ觀覽セシメタリ

規程

大正十二年五月二十六日文部省令第二十五號ヲ以テ東京美術學校規程ヲ改正公布セラレ是迄施行セラレタル大正三年文部省令第二十八號東京美術學校規程及明治四十年文部省令第十八號東京美術學校圖書師範科規程ハ廢止セラレ

右ニ依リ本校ノ學科中圖案科一部二部ノ區別ヲ廢シ同科二部ヲ以テ建築科ヲ置キ臨時寫真科ノ臨時二字ヲ除キ永久存置トシ又各科

ノ豫備科(一學期間)ヲ廢シ入學許可者ハ直ニ各科第一學年ニ編入スルコト、ナレリ 從來四學年修了ノモノヲ卒業期ト稱シ三學期間ナリシ処豫備科廢止ニヨリ餘シ得タル一學期ヲ加ヘテ完全ナル四學期トシ卒業期ノ名稱ヲ廢シ五年級ト改稱セリ 又豫備科一學期間修了ノ關係ニヨリ各本科ノ學年ハ九月開始ナリシ処其廢止ノ為メ各本科トモ四月ニ學年開始ノコトニ繰リ上リ統一スルヲ得タリ

設備

- 一、日本畫科標本臨時設備費
- 一、西洋畫科標本臨時設備費
- 一、彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度年報と同文につき省略。〕

職員

本年度末ニ於ケル職員數ハ學校長一人教授二十九人助教二十人書記六人囑託講師十四人同教員八人同醫師一人體操副科囑託三人教務囑託三人教務雇四人事務雇十一人ニシテ之ヲ前年度ニ比較スレバ教授助教ハ共ニ増減ナク書記ハ一人ヲ増シ囑託講師ハ二人同教員ハ一人ヲ減シ教務雇モ三人ヲ減ジタリ 而シテ教務囑託(雜給支弁ノモノ)三人ヲ新ニ増加セリ 其他ニ在リテハ増減ナシ 本校教官ニシテ文部省在外研究員ヲ命ゼラレ在外研究中ノモノ教授二人助教一人アリ 前年度末ト同シ 休職員ハ前年度末ニ於テ助教二人アリシガ本年度末ニハ皆無トナレリ

生徒

全體ニ於ケル生徒ノ學力、操行、健康ノ狀態ハ前年度ニ比較シテ大差アルヲ認めズ 新入學生徒ニ在リテモ大要亦同様ニシテ特ニ標學スベキ事情ナシトス

本年度新入學者ハ本科百十一人選科十九人(外ニ外國人一人アリ) 圖畫師範科二十七人研究生二十八人ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者四十二人(科修了) 私立中學校卒業者三十六人(全部豫備) 工業學校卒業者十二人(科修了) 工藝

學校卒業者二十一人(全部豫備) ナリ 選科生ニ在リテハ中學校卒業者二人、同二年修了ノモノ五人工業學校卒業者一人高等小學校卒業者五人同未卒業者二人朝鮮高等普通學校卒業者三人公立農學校卒業者一人等ナリ 圖畫師範科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者十一人師範學校卒業者十五人朝鮮高等普通學校卒業者一人ナリ 研究生二十八人ハ孰レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス 新入

學生徒ノ年齡ハ本科生ニ在リテハ最高二十五年一ヶ月最低十八年二ヶ月ニシテ平均二十一年八ヶ月ナリ 選科生ハ最高二十五年六ヶ月最低十八年二ヶ月平均二十二ヶ月ナリ 圖畫師範科生ハ最高二十五年一ヶ月最低十九年一ヶ月平均二十二年一ヶ月ナリ 研究生ハ最高三十二年一ヶ月最低二十五年一ヶ月平均二十八年七ヶ月ナリ(以上外國人生徒ハ除ク)

生徒ノ入退學者ニ就テハ本年度入學者本科百十一人選科十九人(外ニ外國人一人アリ) 圖畫師範科二十七人研究生二十八人ニシテ退學者ハ病氣退學二人家事係累退學二十六人除名處分ノモノ二十九人死亡者五人在學資格消滅十九人(内豫備科五人、研究生十四人)ニシテ外ニ轉科二人アリ 今之ヲ前年度ニ比スレバ入學者

ハ本科ニテ三人選科ニテ四人研究生ニテ九人ヲ減シ圖書師範科ハ三人ヲ増加セリ 退學者ニ在リテハ病氣退學ニ八人家事係累退學ニ七人ヲ減シ除名處分二十人死亡者ニ一人ヲ増加ス 資格消滅ハ豫備科ニ三人ヲ増シ研究生ニ九人ヲ減ジタリ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ西洋畫科ニ八人彫刻科ニ十二人建築科(元圖案科第二部)ニ四人圖案科ニ二人選科ニ六人圖書師範科ニ四人ヲ増加シ日本畫科ニ於テ三人金工科ニ一人鑄造科漆工科ニ各二人研究生ニ二十一人ヲ減少シ寫真科ハ増減ナシ 之ヲ總合シテ全體ニ於ケル差引ノ結果ハ七人ノ増加ナリ 右各科生徒増減中西洋畫、彫刻、建築三科ノ増加較々著シキ趨向ヲ示セルハ現時美術界ニ於テ三科ノ發展向上シツ、アル氣運ヲ觀取シ得ベキモノト思ハル 之ニ反シテ研究生ノ減少著シクナリシハ昨年大震災後研究生各自ノ生活狀態ニ種々ナル影響ヲ惹起シタル結果ト認メラル 本年度末在學ノ外國人ハ選科十三人アリ 前年度末ニ比シテ二人ヲ減ジタリ

本年度ノ卒業生ハ本科七十二人選科九人(内一人ハ外國人)圖書師範科二十二ニシテ計百三人ナリ 前年度ニ比シテ一人ヲ増加セリ
生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ビ本校規則第二十六條ニ依リ特待生ト為シ大正十二年九月ヨリ一學年間ノ授業料ヲ免除セシモノ十九人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ一人ヲ増加セリ
圖書師範科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニ依リ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ奨励金ヲ給與セリ 即チ大正十二年十二月及十三年二月ノ兩回ニ同科生徒ノ競技會ヲ催フシ其成

績ヲ考査シ優秀ナルモノニ奨励金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優秀ナルモノヲ撰拔シテ同ジク奨励金ヲ付與シタリ

大正十三年三月末卒業スベキ各本科並ニ選科生徒等五十三人ノ實地修學ノタメ本年度ノ初四月十一日ヨリ同月廿七日迄十七日間教授一人助教授一人講師一人雇一人之ガ引率又ハ附添ニ任ジ京都、奈良、滋賀ノ府縣下ニ出張シ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ實地研究ヲ為サシメタリ

同ジク十三年三月ニ卒業スベキ圖書師範科生徒二十二ニシテ實地授業法ノ調査研究ノタメ本年度六月十七日ヨリ同月二十二日ニ至ル六日間教授一人助教授一人之ヲ引率シ茨城、福島、宮城ノ三縣下ニ出張シテ調査研究ヲ為サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

在外研究員ノ増員并ニ教官ヲ外國ヘ派遣ノ件

本校教官ニシテ在外研究員ヲ命ゼラル、モノ年ニヨリ一名或ハ兩名ニ及ブコトアルモ其選ニ當ルヲ得ルニ至ル迄ニハ尚少クトモ各々數年ヲ俟タザレバ其志望ヲ遂ゲルヲ得ザルニ付將來ハ研究員ヲ増員サレ本校ノ如キモ年々兩名位ハ必ズ任命サレシコトヲ希望ス 且ツ從來ノ在外研究員ハ主トシテ歐米ノ諸國ニ派遣セラレシモ本校ノ如キ特殊藝術ヲ研究スルモノニ在リテハ東洋方面ノ支那印度等ヘモ派遣アリテ其ノ古美術ヲ調査シ系統ヲ研究セシムルコトモ亦緊要ト認メラル、ヲ以テ將來此方面ニ於ケル研究員モ併セ命ゼラレンコトヲ希望ス

